

# 名張の獅子神楽の由来

名張の獅子神楽は秋

## 躍動 獅子神樂

新春特別企画

獅子神楽（獅子舞）というと正月のイメージもありますが、

名張は秋。各地の神社で、五穀豊穣、天下泰平、家内安全を祈り舞を奉納します。神社での奉納のほかにも、集落の家々を訪問する「村まわし」と呼ばれる風習があります。一軒一軒訪問して舞ったり、出産や結婚、新築などのお祝い事があった家で舞つたりと地域でさまざま。近年は、地域や店舗の催しなどで舞が披露されるなど、身近に獅子神楽が親しまれています。

基本的に、獅子神楽は二人一組で太鼓の音に合わせて舞います。終盤になると「天狗」に扮した舞手が登場し、獅子と対峙するように舞つたり、にぎやかとして、「チョケ」という「ひよっこ」や「おかめ」の面をつけた舞手が登場したりして、観衆を楽しませてくれます。

由来は敢国神社の獅子神樂  
名張の獅子神楽は、伊賀国の一之宮である敢国神社（伊賀市）

に由来があります。元々は敢国神社の獅子神楽を專業で舞う人たちがいて、1~3月ごろには名張にも舞いに来ていたそうです。江戸後期以降、名張各地の有志が敢国神社の獅子神楽を学び、そこに地域の独自性が加えられつつ、秋に奉納されるようになっていったようです。

江戸時代の名張は49の村に分かれている、その村一つひとつに獅子があつたとされています。戦時に途絶えたり、後継者がいなくなったりして、現在では30近くになりましたが、各地域の保存会などにより、獅子神楽の躍動が脈々と受け継がれています。



伊賀地域の獅子神楽の原型とされる敢国神社の獅子神楽（県無形民俗文化財）



赤目町柏原の「村まわし」では、観衆に獅子が巻き付く微笑ましい光景も





## ＼市内各地の団体が舞を披露／ なばり獅子フェス

市内には獅子神楽の団体が30近くありますが、そのうち、今号は「なばり獅子フェス2018」に参加の14団体をご紹介しました。

この催しは、平成30年9月、市内で獅子神楽を担う有志の皆さんのが開催。あいにくの雨となりましたが、会場の市役所には、同時開催のマルシェと合わせて2,500人が来場。それぞれの舞に特徴があり、見るものを楽しませてくれました。

コロナ禍などもあり、それ以来開催されていませんが「市内にこれだけ多くの獅子舞が受け継がれているのはすごいこと」といった声も多く聞かれ、団体同士の交流も深まったようです。各地域に伝わる獅子神楽が、名張を元気にする地域資源として改めて見直されるきっかけとなりました。

獅子フェスのFacebookページには、各団体の詳しい紹介も掲載されています。そのほか、SNSで独自に情報発信している団体もありますので、要チェック！



獅子フェス  
Facebook



薦生中山神社獅子神楽保存会 中山神社（薦生）



鹿高区獅子神楽

鹿高神社（安部田）

力士の土俵入りを思わせるような  
ゆったりと力強い舞が魅力的

一ノ井春日神社  
獅子神楽保存会

一ノ井春日神社  
(赤目町一ノ井)

子ども天狗が、身軽な  
動きで獅子を翻弄する  
姿が愛らしい



名居神社獅子保存会 名居神社（下比奈知）

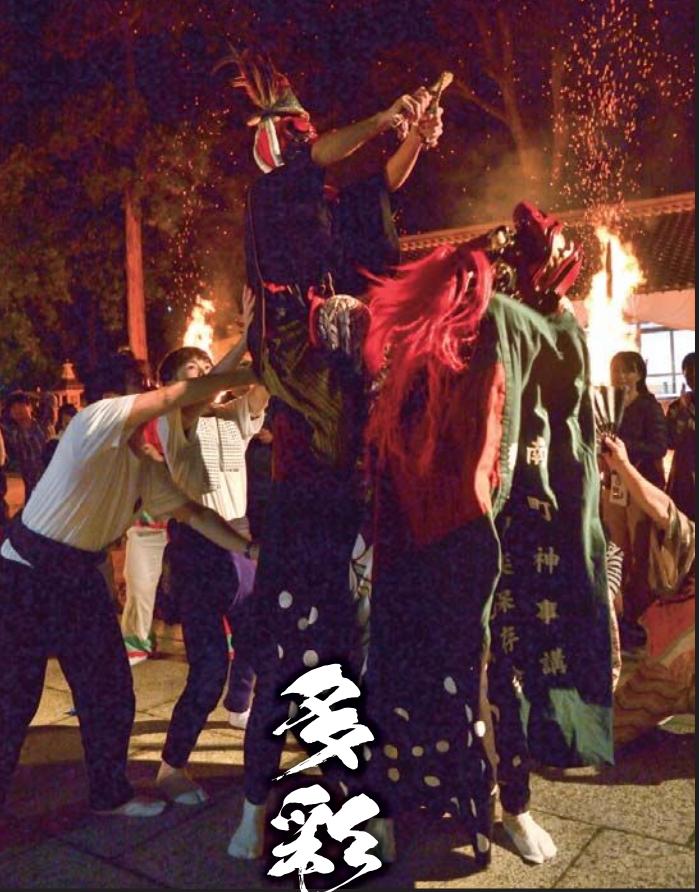
秋祭りの参道には地元の子どもたちが描いた絵が貼られた  
竹筒が並べられ、獅子神楽と共に親しまれている



丈六獅子神楽保存会

八幡神社（赤目町丈六）

側転で魅せる子ども  
天狗に拍手喝采！  
丈六・檀の2地区で  
獅子神楽を奉納



## 多彩な獅子神楽

南町神事講  
獅子神楽保存会

宇流富志禪神社（平尾）

名張秋祭りの大松明のもと、  
格調高く勇壮な舞を奉納



八幡若連中

八幡正八幡宮（八幡）

祭りラストの舞上げと呼ばれる舞  
は獅子頭を天高く持ち上げ大回  
転。大迫力の舞は一見の価値あり



滝之原上出・  
仲出・下出  
小場獅子保存会

国津神社（滝之原）

滝之原の3小場の保存  
会が獅子神楽を奉納



黒田獅子神楽  
保存会

黒田勝手神社（黒田）

黒田・結馬・井手の  
3地区で獅子神楽を  
奉納



柏原神楽会

柏原勝手神社  
(赤目町柏原)

天正伊賀の乱の  
最終決戦地で奉  
納される舞は、  
勇壮で荒々しい



蔵持獅子神楽  
保存会

蔵持春日神社（蔵持町原出）

雄雌雌の三頭舞。近年は  
会員減少で三頭舞が難し  
い状況だが、子ども天狗  
はますます元気



布生國津神社  
獅子舞保存会

國津神社（布生）

秋祭りには地域外か  
らも舞手が応援に駆  
けつける



短野獅子神楽  
保存会

杉谷神社（大屋戸）

雌雄の2頭舞。機敏な  
動きで見る者を魅了す  
る。短野・大屋戸の2  
地区で獅子神楽を奉納

瀬古口  
獅子神楽  
保存会

稻荷神社（瀬古口）

雄獅子の舞は激しく  
勇ましい。四隅を守  
る提灯が特徴的

12人で活動中  
10~50代の

## アドレナリンが ドバドバです！

八幡若連中 濱田 喜真さん

小さいころから親しんできた獅子舞に、令和6年の秋、ついにデビュー。「露払い」と呼ばれる舞手の一番手を任せられ、もうアドレナリンがドバドバ！激しい舞で、みんなを笑顔にして、楽しませたいんですね。というか、自分が一番楽しませてもらってるのかも。仲間も八幡も大好きなので、これからもずっと続けていきたいです。

## 体力が続く限り、 頑張らなあかん！

短野獅子神楽保存会  
なかうら 矢上 弘次さん

みんな獅子舞が大好きやし、大勢の人見てもらいたい。だから、獅子神楽フェスに呼んでもらえてうれしかったし、機会があればいろんなところに出向きたいですね。地域のみんなの強い思いで、2001年に復活させた短野の獅子舞。なかなか動きが激しいですが、最近は若い子も入ってくれたし、体力の続く限り頑張らなあかんな！

25人で活動中  
8歳~60代の

## 伝統の「三頭舞」を復活させたい！

蔵持獅子神楽保存会  
吉岡 芳弘さん

会員が高齢化し、コロナ禍のあと、蔵持伝統の「三頭舞」ができる状況に。一方で、「こども天狗をしたい」という児童は増加中！将来、子どもたちが獅子舞を

したいと戻ってきてくれたうれしいし、もし、地域外に出て、故郷でみんなと再会できる居場所は残しておきたい。そして、みんなで獅子舞を盛り立てて「三頭舞」も復活させたいですね。



# 競演 獅子神樂

2024.12 獅子神楽フェス  
蔵持×八幡×短野



動画

蔵持獅子神楽保存会



市内各地域の獅子神楽は、それ自体に伝統があり、衣装や道具の飾り、舞の仕草や動作など、いろいろと異なっているのがおもしろいところ。口伝上で伝承されたり、舞手の好みで変化を加えたりして、代を重ねるごとに変化してきたのでしょうか。共通しているのは獅子神楽への情熱。地域の絆を結び、地域に誇りを感じる貴重な機会にもなっています。獅子神楽の躍動は、まちの躍動そのものなのかもしれません。

近年は多くの団体で会員の高齢化が進んでいますが、地域の中では、また、団体同士で連携しながら、獅子神楽への情熱を盛り立て、後世に引き継いでいくたいのです。

12月に蔵持市民センター祭の一環として、蔵持小運動場で開催された「獅子神楽フェス」。

舞を披露したのは、蔵持獅子神楽保存会、八幡若連中、短野獅子神楽保存会（出演順）。「なばり獅子フェス2018」以来続

いてきた交流がもとで、普段はそれぞれの地域で活動する3つの団体が集いました。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

12月に蔵持市民センター祭の一環として、蔵持小運動場で開催された「獅子神楽フェス」。

舞を披露したのは、蔵持獅子神楽保存会、八幡若連中、短野獅子神楽保存会（出演順）。「なばり獅子フェス2018」以来続

いてきた交流がもとで、普段は

それぞれの地域で活動する3つ

の団体が集いました。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を

加えたりして、代を重ねるごと

に変化してきたのでしよう。

共通しているのは獅子神楽へ

の情熱。地域の絆を結び、地域

に誇りを感じる貴重な機会にも

なっています。獅子神楽の躍動

は、まちの躍動そのものなのかな

かもしれません。

近年は多くの団体で会員の高

齢化が進んでいますが、地域の

中で、また、団体同士で連携し

ながら、獅子神楽への情熱を盛

り立て、後世に引き継いでいき

たいのです。

市内各地域の獅子神楽は、そ

れぞれに伝統があり、衣装や道

具の飾り、舞の仕草や動作など、

いろいろと異なっているのがお

もしろいところ。口伝上で伝承

されたり、舞手の好みで変化を